

# 地域学校協働連携NEWS



こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→

## 和太鼓・しの笛体験 ～檜原小学校～

2月20日(火)、下郷町立檜原小学校の4・5年生の音楽科の授業取材しました。

檜原小学校では、地域の団体「大川溪流太鼓保存会」の方に協力していただき、4年生が和太鼓、5年生がしの笛の体験をしています。学校の授業では、和太鼓やしの笛の音色をCDで聞くことはできても、実際に体験することはなかなかできません。貴重な体験が、地域の方の協力によって実現しています。

最初は音が出なかったしの笛が鳴って思わず笑顔を見合わせる子供の姿や、恐る恐る叩いていた和太鼓を力強く叩くことができるようになった子供達の姿を見ることができました。



<講師 岩澤さん>

教える曲は「下郷甚句(下郷町の盆踊り曲)」です。地元に戻って聞いた時に、懐かしいと思ってもらいたいです。実際に大人になって地元に戻り、保存会の活動に関わってくれる子もいて、やりがいを感じています。子供たちには、こういった伝統を世界に発信できるようにしてほしいです。



最初は音が出なかったけれど、練習するうちに音が出るようになって楽しかったです。

吹く場所を変えたら、音が出るようになりました。

(檜原小学校5年生)



「太鼓の達人」をやったことはあるけれど、本物の和太鼓を叩いたことはありませんでした。

大きな音が鳴って怖かったけれど、叩くことができてうれしかったです。

(檜原小学校4年生)



地域の方には、自然体験や伝統文化の体験など、たくさんの学習で関わってもらっています。おかげで、子供たちの学びが充実しています。

(檜原小学校教諭)



講師の渡部さんは、高校生の時に大川溪流太鼓保存会でしの笛を始め、大人になった今も、保存会の一員として活躍されています。好きなことを続けられているということをうれしそうに話してくださいました。

子供たちには、地域の方と関わりながら、地域の中でたくさんの体験をすることで、将来も続けていきたいと思えることや自分の得意なことを見つけてほしいと思います。次年度も、地域学校協働活動の充実をよろしく願いいたします。



<講師 渡部さん>